

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【公開番号】特開2016-71643(P2016-71643A)  
 【公開日】平成28年5月9日(2016.5.9)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-027  
 【出願番号】特願2014-200544(P2014-200544)  
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/06 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 10/06 1 1 2

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月4日(2017.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

行方向にシーケンシャルナンバを有し、列方向に各給与項目および給与項目の計算式を有する表を作成し、前記シーケンシャルナンバと前記各給与項目とが交差する区画に、給与計算のための条件分岐を行う判定条件を定義する定義手段と、

前記シーケンシャルナンバに従って前記各給与項目を確認し、前記判定条件に基づいて隣接する前記給与項目に移行し、該当する前記計算式を取得する条件分岐手段と、

前記条件分岐手段により取得された計算式に基づいて給与計算を実行する給与計算手段と、を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記作成された前記表にテスト用データを入力し、当該テスト用データが入力されたテスト用表に対して、前記判定条件に基づいて前記給与計算を実行するテスト手段を、備えること

を特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記テスト手段は、前記各給与項目に設定する数値を変えて、前記定義された判定条件が実際に経由される度合いを算出する

を特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

各社に給与計算サービスを提供する情報処理装置と、

前記各社が所定の給与体系を有し、前記情報処理装置から前記給与計算サービスを受けて給与計算を実行する端末と、を備え、

前記情報処理装置は、

前記端末からの給与計算要求および給与体系に関する情報を受け付ける通信手段と、

前記給与体系に関する情報に基づいて、

行方向にシーケンシャルナンバを有し、列方向の各給与項目および給与項目の計算式を有する表を作成し、前記シーケンシャルナンバと前記各給与項目とが交差する区画に、給与計算のための条件分岐を行う判定条件を定義する定義手段と、

前記シーケンシャルナンバに従って前記各給与項目を確認し、前記判定条件に基づいて隣接する前記給与項目に移行し、該当する前記計算式を取得する条件分岐手段と、

前記条件分岐手段により取得された計算式に基づいて給与計算を実行する給与計算手段と、を備え、

前記通信手段は、前記給与計算手段により実行された給与計算結果を前記給与計算サービスとして前記端末に送信すること  
を特徴とする給与計算システム。

【請求項 5】

前記情報処理装置は、

前記定義手段により作成される前記表を、前記端末の給与体系毎に用意すること  
を特徴とする請求項 4 に記載の給与計算システム。

【請求項 6】

情報処理装置としてのコンピュータを、行方向にシーケンシャルナンバを有し、列方向に各給与項目および給与項目の計算式を有する表を作成し、前記シーケンシャルナンバと前記各給与項目とが交差する区画に、給与計算のための条件分岐を行う判定条件を定義する定義手段、前記シーケンシャルナンバに従って前記各給与項目を確認し、前記判定条件に基づいて隣接する前記給与項目に移行し、該当する前記計算式を取得する条件分岐手段、前記条件分岐手段により取得された計算式に基づいて給与計算を実行する給与計算手段として機能させる給与計算プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記課題を解決するため、本発明の情報処理装置は、行方向にシーケンシャルナンバを有し、列方向に各給与項目および給与項目の計算式を有する表を作成し、前記シーケンシャルナンバと前記各給与項目とが交差する区画に、給与計算のための条件分岐を行う判定条件を定義する定義手段と、前記シーケンシャルナンバに従って前記各給与項目を確認し、前記判定条件に基づいて隣接する前記給与項目に移行し、該当する前記計算式を取得する条件分岐手段と、前記条件分岐手段により取得された計算式に基づいて給与計算を実行する給与計算手段と、を備えることを特徴とする。

その他の手段については、発明を実施するための形態のなかで説明する。